



# R7 チャレンジ! グリーン活動

学校・地域環境保全コース

観音寺市立大野原小学校

5年生

大野原小学校全校生482名によるグループです。その中心となって活動するのは5年生99名です。児童はたくさんの自然と触れ合いながら、元気いっぱい、笑顔いっぱい、みんな仲よく過ごしています。自分たちの町に誇りをもち、地域の方と一緒に学校林を大切に守っていきたいと思います。

## 目標

大野原の誇りである森林について学び、守っていこう!

## 指標

100%の児童が森林の大切さや森林を守ることの重要性について実感する。

## 活動の様子



事前の学習では、林業に携わる地元のボランティアの方から、学校林の歴史や森林の果たす役割について話を聞いた。社会科で学んだ林業のことを振り返りながら学ぶことができた。

林業で使用する道具に触れたり、ヒノキとスギの苗木を見比べたりし、森林の尊さや林業の大切さについて実感することができた。また、昭和28年に最初に植林を行った地域の方の、地域を愛する思いにも気付くことができた。



間伐作業では、根元に切り目を入れたヒノキを、児童が2方向からロープで引き倒した。直径約20cmほどのヒノキであるが、グループで協力して引っ張らないと倒すことができないことに驚いていた。倒れたときの音や地響きとともに、思わず児童の歓声が湧きあがった。

倒した丸太は、児童がノコギリで輪切りにして記念に持ち帰った。また、ボランティアの方がチェーンソーで輪切りにしたものは、図工の作品づくりに活用した。

### <本年度、工夫できた点・挑戦できた点>

実際に学校林を訪れ、間伐作業などの活動を行うことで、森林を身近なものとして感じるようになるようにした。また、その他にも、輪切りのヒノキを利用し、各自のアイデアを取り入れた壁かざりを制作することを通して、自然を身近に感じたり、自然の大切さに気付いたりできた。また、完成した児童の作品は観音寺市の「ふるさと学芸館」に展示する予定である。

## 目標の達成度

100%の児童が活動に参加し、森林の大切さや森林を守ることの重要性について感想を記した。